

「快報 風険消息」は、中国に拠点をお持ちの企業の皆様にお届けするリスク情報誌「中国風険消息」の速報版です。

2021年1月21日

<新型コロナ>対策レベルの至急引き上げをお勧めします！

本日14時の上海市政府の記者発表によると、市内で新たに3名の新型コロナウイルス感染者(2名は病院関係者、1名はその友人)が確認されました。11月頃より新たな感染例が中国各地で相次いで報告され、春節の大移動を目前に控えて再び緊張感が高まっています。市中感染が疑われるケース、感染経路がはっきりしないケースが複数の地域で同時に発生していることを踏まえると、今まさに企業における対策もそのレベルを一段引き上げるべきタイミングといえます。本稿では、企業に今すぐ取り組んでいただきたいポイントについて説明します。

1. 地域ごとの最新の感染リスク等級の把握

本稿執筆時点で、中国全体で6地域が高リスク地区に、58地域が中リスク地区に指定され、地域的なロックダウンを含む重点的な防疫対策が実施されています。自社の所在地のほか、訪問する可能性のある地域のリスク等級を定期的に確認することが、有効な対策を講じるための前提といえます。

「疫情風険等級查詢」

QRコード



(1/21 13:00 時点の高リスク地区)

● 高リスク等級地区	
北京市 大兴区 天宫院街道	
融汇社区	高リスク
河北省 石家庄市 藁城区	高リスク
河北省 石家庄市 新乐市	高リスク
河北省 邢台市 南宫市	高リスク
吉林省 通化市 东昌区	高リスク
黑龙江省 绥化市 望奎县	高リスク

2. 職場における感染防止対策

ここ数ヶ月、国内では一部地域を除いて市中感染例がほとんど発生しない状態が続いてきたこともあり、多くの職場で感染防止対策が緩みがちになっているといえます。今般、複数の地域で市中感染が疑われる感染例が急増していることを踏まえ、速やかに社内における感染防止対策のレベルを一段引き上げることをお勧めします。具体的には、昨年の1~3月頃に実施したような各種の感染防止対策の再実施を検討ください。特に、重点的に確認いただきたいポイントを以下に整理します。

実施事項	<input checked="" type="checkbox"/>	説明
備蓄品の再整備	<input type="checkbox"/>	再度品薄になることを想定し、3ヶ月程度(流行サイクルの持続が想定される期間)の社内利用に足る分量を備蓄する。 (不織布性マスク、消毒液、非接触体温計、除菌シートなど)
マスクの常時着用	<input type="checkbox"/>	通勤中だけでなく、執務中も原則として必ずマスクを着用するルールを再徹底する。
入館時の検温・消毒	<input type="checkbox"/>	職場への入館時に検温・消毒するルールを再徹底する。
全社員の健康チェック	<input type="checkbox"/>	全社員の体温、体調を毎日集計し、体調不良者は出社させない。
集まらない	<input type="checkbox"/>	一定人数以上の会議、会食は極力行わない。一定規模以上のイベントは中止・延期する。
感染疑義者発生時の対応フロー	<input type="checkbox"/>	社内や関係者から感染疑義者が発生した場合に、当該者および濃厚接触者に対してどのような対応を行うか、予め対応フローを整備しておく。 (濃厚接触者の定義を社内で決めておくことも重要)
業務 PC の持ち帰り	<input type="checkbox"/>	職場や自宅周辺で感染者が確認され、突如ロックダウンされた場合にも、必要最低限の業務を遂行できるよう、持ち運び可能な業務 PC は毎日持ち帰る。

3. 出張／来客の受け入れなどに関するルールの整備

自社の所在地が高・中リスク地域に指定された場合の対応方針、高・中リスク地域や近接地域への出張／来客の受け入れに関する方針・ルールを至急整備する必要があります。以下は、その検討例です。

ケース	<input checked="" type="checkbox"/>	実施事項(案)
自地域の全部または一部が 中リスク地域に指定された 場合	<input type="checkbox"/>	中リスク地域への訪問を禁止する。
	<input type="checkbox"/>	中リスク地域に居住する社員は出社させない。
	<input type="checkbox"/>	中リスク地域指定後に、当該地域を訪問した社員を特定し、政府指示に基づいた対応を指示する。(隔離・PCR 検査の受診など)
	<input type="checkbox"/>	中リスク地域を通過しなければ通勤できない社員は出社させない。もしくは、タクシー通勤に切り替える。
	<input type="checkbox"/>	出張・旅行は中止・延期する。
	<input type="checkbox"/>	自社内における取引先などとの面談は中止・延期する。
自地域の全部または一部が 高リスク地域に指定された 場合	<input type="checkbox"/>	高リスク地域への訪問を禁止する。
	<input type="checkbox"/>	高リスク地域に居住する社員は出社させない。
	<input type="checkbox"/>	高リスク地域指定後に、当該地域を訪問した社員を特定し、政府指示に基づいた対応を指示する。 (一定期間の隔離もしくは PCR 検査の受診など)

自地域以外が中リスク地域に指定された場合	<input type="checkbox"/>	中リスク地域が所在する省市への出張・旅行を禁止する。
	<input type="checkbox"/>	中リスク地域指定後に、当該地域を訪問した社員を特定し、政府指示に基づいた対応を指示する(隔離・PCR検査の受診など)
	<input type="checkbox"/>	中リスク地域が所在する省市から自社への出張・訪問をお断りする。
自地域以外が高リスク地域に指定された場合	<input type="checkbox"/>	高リスク地域が所在する省市への出張・旅行を禁止する。
	<input type="checkbox"/>	高リスク地域指定後に、当該地域を訪問した社員を特定し、政府指示に基づいた対応を指示する(隔離・PCR検査の受診など)
	<input type="checkbox"/>	高リスク地域が所在する省市から自社への出張・訪問をお断りする。

※自地域…自社が拠点を設置している省市

4. 春節期間の帰省への対応

国務院より、既に春節期間中にも省を跨ぐ移動や帰省をできるだけ控えるよう、通知が公表されています。1月20日には、国家衛生健康委員会により、春節期間中に故郷の農村地方へ戻る人には、7日以内の新型コロナウイルスの陰性証明の提出が義務化されました。帰省中の滞在地で感染者が確認され、高・中リスク地区となった場合には、2週間の隔離対象となるリスクが想定されます。

このような状況を踏まえると、企業として自社の従業員に対して、春節にはできるだけ帰省せず自宅に留まるよう働きかけを行う必要があります。一部の企業では、帰省しない社員に対して臨時の手当を支給するといった福利対応が検討されています。なお、一部のやむを得ない事情などにより帰省・旅行を行うケースも想定されます。その場合には、必要な情報(訪問先、訪問期間、宿泊先、緊急連絡先など)を事前に報告させ、会社として所在を把握できるようにしておくことが必要です。また、自己都合による帰省・旅行中に、滞在地が高・中リスク地区に指定されるなどして、隔離による出勤不能となる場合は欠勤扱いとするといった勤務ルールについても、事前に検討し、社員に周知しておくことが必要と思われる。

以上

執筆: インターリスク上海 総経理 飯田 剛史

瑛得管理諮詢(上海)は、中国・上海に設立されたMS&ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

<お問い合わせ先>

瑛得管理諮詢(上海)有限公司 (日本語表記: インターリスク上海)

上海市浦東新区世紀大道 100 号 上海環球金融中心 34 階 T10-2 室

TEL:+86-(0)21-6841-0611(代表)